

〔續史愚抄後小椋〕永德二年四月十一日庚寅於土御門里內受禪春秋以太政大臣基可爲攝政被載

讓位宣命者節會終自舊主御所中園殿攝政真已下參入依爲幼主無出御

〔續史愚抄桃園〕延享四年五月二日辛卯於土御門里內受禪御年自櫻町殿舊主御所被渡御衣使藏人左少辨

〔續史愚抄桃園〕

○按ズルニ此他明正天皇モマタ幼帝ナレドモ女帝踐祚ノ條ニ詳ナレバ此ニハ略ス

〔日本書紀二十二推古〕豐御食炊屋姫天皇古推天國排開廣庭天皇明欽中女也橘豐日天皇同母妹也幼

曰額田部皇女姿色端麗進止軌制年十八歲立爲淳中倉太玉敷天皇敏之皇后三十四歲淳中倉

太玉敷天皇崩三十九歲當于泊瀨部天皇崇五年十一月天皇爲大臣馬子宿禰見殺嗣位既空群

臣請淳中倉太玉敷天皇之皇后額田部皇女以將令踐祚皇后辭讓之百寮上表勸進至于三乃從之

因以奉天皇璽印十二月己卯皇后即天皇位於豐浦宮

〔神皇正統記推古〕崇峻かくれ給ひしかば癸丑の年即位大倭の小墾田の宮にましますむかし神

功皇后六十餘年天下を治め給ひしかども攝政と申て天皇とは號したてまつらざるにや此帝

は正位に即給ひけるにこそ即厩戸皇子を皇太子として萬機の政をまかせ給ふ攝政と申さ

〔日本書紀二十四皇極〕天豐財重日重日此云伊柯之比足姬天皇皇極淳中倉太玉敷天皇敏曾孫押坂彥人大兄

皇子孫茅淳王女也母曰吉備姬王天皇順考古道而爲政也息長足日廣額天皇明二年立爲皇后

十三年十月息長足日廣額天皇崩元年正月辛未皇后即天皇位以蘇我臣蝦夷爲大臣如故

〔日本書紀三十持統〕高天原廣野姬天皇統持少名鷓野讚良皇女天命開別天皇天智第二女也母曰遠智

娘更名美濃天皇深沈有大度天豐財重日足姬天皇皇極三年適天淳中原瀛真人天皇武爲妃雖

帝王女而好禮節儉有母儀德天命開別天皇元年生草壁皇子尊於大津宮十年十月從沙門天淳中

原瀛真人天皇入於吉野避朝猜忌中天淳中原瀛真人天皇元年六月從天淳中原瀛真人天皇避

女帝踐祚